



杏葉紋

北っ子 ~「共に」~

とも

合言葉

令和3年9月1日(水)

みやき町立北茂安小学校

文責 校長 古賀 康弘



🔴 残暑厳しい中での2学期スタート 🔴

2学期がいよいよスタートしました。新型コロナウイルス感染拡大、また残暑厳しく熱中症が心配される中での登校となりましたが、子どもたちは元気な顔で安全に歩いて登校することができました。これは、本日もPTA役員の方に安全指導ということで立っていただいたり、保護者や地域の皆様にも温かく見守っていただいたりしているお陰です。ありがとうございます。

登校後、全校放送での始業式を行いました。一昨年までだったら体育館で日焼けした子どもたちの顔をみながら話をするところですが、残念ながら新型コロナウイルス感染対策として、校内放送(TV)で行いました。

始業式では、次のようなことを子どもたちに話しました。『42日間という長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。夏休みも新型コロナウイルス感染対策で毎日の検温やマスクの着用、こまめな手洗いなどをしなければいけなかったり、大雨で思うように外に出ることができなかったりと不安な日々を過ごしたのではないかと思います。でも、今日はみんなの元気な顔を見ることができて本当によかったと思います。もし、新学期が始まって心配なことがあったら先生たちにぜひ相談してくださいね。』

さて、このマークを見たことがありますか？
そうです。現在行われている、2020東京パラパラリンピックのシンボルマーク(スリーアギトス)です。
赤、青、緑の三色から成っていて、これらの三色は、世界の国旗で最も多く使用されている色ということで選ばれたそうです。
「アギト」という言葉は、ラテン語で「私は動



く」の意義があり、困難があっても諦めずに、限界に挑戦し続ける選手を表現しているそうです。校長先生もパラリンピックを見ていると心が揺さぶられ、自分も諦めずにがんばろうという勇気をもらいます。2学期は、長いですが、みんなが活躍できる場がたくさんあります。2学期も「共に」を合言葉



に、どんな困難があっても諦めずに乗り越えようとする強い気持ちをもって、楽しい学校生活を送りましょう。』と話しました。最後に、田畑精一 著「さっちゃんのまほうのて」を読みました。主人公のさちこは、先天性の四肢障害児です。父が不安な娘と手(指のない手)をつないで帰る場面で「とっても不思議な力が、さちこの手からやってきて、お父さんのからだいっぱいになるんだ。さちこの手はまるで魔法の手だね」と話します。その言葉でさちこは、つらい現実を乗り越えるきっかけを得ます。私は言葉の大切さを改めて強く感じました。子どもたちには障害があっても生き生きと頑張っている姿を感じてほしいと思い読み聞かせをしました。

🌸 9月 🌸 ☆ 行事予定 ☆ (9/1 現在)

- 9月 1日(水) 始業式、生活朝会、登校指導
- 2日(木) 給食開始、登校指導
- 3日(金) 学級大掃除、登校指導(6日まで)
- 7日(火) 委員会活動、PTA企画委員会
- 14日(火) 代表委員会
- 20日(月) 敬老の日
- 21日(火) 児童朝会、クラブ活動(中止)
- 23日(木) 秋分の日
- 28日(火) 生活朝会

県内は、新型コロナの感染が拡大し、医療機関など厳しい状況が続いています。本校では感染予防のために、毎日の健康観察(同居家族も含む)、マスクの着用(原則不織布)手洗い・消毒、換気の徹底など基本的な感染対策に努めて参ります。本人はもちろんですが、同居家族の方が体調不良の時も、必ず自宅で休養するようにご対応ください。詳しくは、町教委からの文書(両面)をご覧ください。